

伊賀上野研修会議事録

日時 2009/10/24 10:00AM～12:00AM

場所 上野西部地区市民センター

出席者

伊賀上野側

上野天神保存会 増田氏副会長（司会）

上野天神祭保存会 八尾会長

上野天神祭振興会 石橋会長

鍛冶町自治会 今岡会長

小玉町 増田氏

教育委員会 豊岡氏

教育委員会（当時） 加納氏

大津祭側

上田氏（狸山）

猪股氏（狸山）

衣笠氏（西宮蛭子山）

戸川氏（西宮蛭子山）

福田氏（猩々山）

吉田氏（石橋山）

岡地氏（石橋山）

千石氏（湯立山）

柴山（久治）氏（源氏山）

太田氏（神功皇后山）

山根氏（月宮殿山）

三国氏（龍門滝山）

橋本氏（孔明祈水山）

谷本氏（郭巨山）

梅村氏（郭巨山）
酒井氏（郭巨山）
稲岡氏（NPO 事務局長）
白井氏（NPO 理事長）
井口氏（NPO 副理事長）
田村氏（NPO 副理事長）
別所氏（NPO 副理事長）
柴山氏（NPO）
中野氏（NPO 個人）
大西氏（大津市 観光振興課）

---会議内容---

司会挨拶

1. 伊賀上野出席者紹介
2. 大津祭側紹介
3. 加納氏 経緯説明

三重県の無形民俗文化財は3つある。伊賀上野はその中に入っていなかったが、祭りの担い手が減る。途絶える可能性がある。平成8年であった。

そこでまず記録を作る作業を始めた。書籍で126ページ分。VTRでも記録した。植木氏を交え文化財の保護審議委員会が協力。この方が詳しくだったのでともにスタートした。ここで民族調査団を結成。さらに植木氏の師弟が集まった。各町の古文書調査。2年で終わらなかったが進めた。調査員を町に1人ずつ配置。行事しきたり、聞き取り調査実施。映像の撮影はNHKに撮ってもらえと地元から要望。廉価で受けてもらえた。観光ビデオとは違い、ひよろつき鬼の足下の所作ばかりなど、特徴があり逆に観光テープを作るのではなかったのがポイント。

さらに伝統文化伝承事業 発足 平成10～12年。文化庁からメニュー

一が来た。県からも後押しアリ。報告書400ページができた。結局平成10年がリスタートとなった。県事業の調査で出来なかったことを深めていった。たとえば、だんじりは解体してしまっていたが、重要部品は責任者が各自保存していた。まただんじり構造の調査。鬼の調査などかなり行った。長浜の調査を参照した。

後継者の育成。子供が減り高齢化している。囃子が出来なくなる。このため体験学習の実施。子供から大人までに教える。自分の町の笛を他町に教える習慣はなかった。だんじりの乗車体験。昔は長男しか乗れなかった。

わらじ編み方体験。つまり「祭りを解放」してもらった。

成果発表をした。囃子コンサート、講演会など。

そして400ページの冊子完成した。平成12年である。

4. 質疑

問い (大津祭 NPO 白井氏)

当初より活動目的は国指定をめざしていたか？

回答 (教育委員会 (当時) 加納氏)

できたらいいな程度。まず保存が前提であった。国指定はたまたまである。調査の中で山に特徴があった。「しるし」「はやされるもの」や、または「やすもの」のあり方が文化庁の目にとまったがポイント。

問い (大津祭 山町)

補助金のメリット デメリットについてお聞かせいただきたい

回答 (上野天神祭保存会 八尾会長)

補助金は祭り運営にはない。幕の修理をすこしずつ。地元応分の負担が必要である。町は運営 申請の段取りのみ。

回答補足 (教育委員会 豊岡氏)

教育委員会の立場として、

美術保存会から修理の申請をしてもらう。町で勝手に直してはだめ。教育委員会へ提出後専門家による審議会開催、国補助に動く。幕の修理

山の修理 見送り幕の復元新調、水引幕の復元新調なども同等である。

問い (大津祭 山町)

国指定前はどうか？

回答 (上野天神祭保存会 八尾会長)

各町で資金調達していたと思う。時期によって市の補助 県の補助 観光協会の補助などがあった。国指定になると行政側の口出しがしやすくなる。

問い (大津祭 山町)

修復の業者指定ありますか？

回答 (上野天神祭保存会 八尾会長)

経験のある業者を教育委員会が決める。

問い (大津祭 山町)

国指定を受けることによる制限 運営がむつかしくなったか？

回答 (上野天神祭保存会 八尾会長)

巡行に関しては変わっていない。修理は難しくなった。

回答補足 (こみの山町 増田氏)

補助金は関わりなく 地元が100%金出すとしても、教育委員会への相談はしてもらう。

問い (大津祭 山町)

国指定になって 気持ちは何かかわったか？

回答 (上野天神祭保存会 八尾会長)

当初はあったが薄れてきているが、指導する側には意識が保てる。

問い (大津祭 山町)

観光客は変わったか？

回答 （上野天神祭保存会 八尾会長）

祭りの開催が日を指定しており、年ごとに開催曜日が変わる。人出は曜日に関わり 国指定とあまり関係ないと思う。

警備に関する意見交換 大津祭白井氏 上野 矢野氏

大津祭 NPO 井口氏 巡行、ちまき巻きを解説

問い （大津祭 山町）

国指定にするための働きかけを何かしたか？

回答 （教育委員会 豊岡氏）

国に対して働きかけは絶対にしないほうがよい。補助金 国50%負担割合は変わってきている。県の際は県が50%。指定裏話。文化庁は三重県の鯨船を先に指定する動きがあった。伊賀上野を陳情に代議士が文化庁へ行った。怒られた。国へのピーアールは調査団を結成をして調査書を作る方がよい。

大津祭 NPO 井口氏

調査書は昭和49年にやっている。9年かかった。総合調査書もある。歴史博物館発行の本もある。

回答 （教育委員会 豊岡氏）

上野は指定はすぐ受けた。文化庁の保護審議会で決定される。上野は資料作成に時間が必要だったので、時間がかかった。

修理をする技術者の研修会組織がある。金具の技術者をまた幕の修理をする議儒者の養成および講習会である。全国山鉾保存連合会。もちまわりで研修会を行っているがそこに参加できた。修理をする技術者の研修会組織も研修会の一つである。

問い （大津祭 山町）

調査と町内の反応はどうでしたか。

回答 （上野天神祭保存会 八尾会長）

苦勞はあった。しかし展示館などでお宝発掘などイベントがあり少しずつ変わっていった。

問い （大津祭 山町）

各町の管理組織はどのようなになっているのか。

回答 （上野天神祭保存会 八尾会長）

地縁集団に切り替えた町がある。法的に仕組みが出来て、てまが必要であるが、子孫が居なくなったときの対応がしやすい。鬼町も法人化した。しかしあとから町に来た人が町の人口を超えることもあり、いろいろむつかしい。

また祭りの保存会は法人化されていない。自治会と一体である。

問い （大津祭 山町）

蔵は耐震化しないといけないのか

回答 （上野天神祭保存会 八尾会長）

火災が怖い、国指導は来ていない。幕の保管方法を指導されている事例がある。

問い （大津祭 山町）

解体したことはあるか

回答 （上野天神祭保存会 八尾会長）

鍛冶町がある。魚町がある。解体して修理する必要がある。昭和の初めにもあった。

問い （大津祭 山町）

修理のタイミングは？緊急性があった場合どうしているのか？

回答 （上野天神祭保存会 八尾会長）

場合によっては自力で直している。ただ審議会は通している。

問い (大津祭 山町)

国の補助のバランスは？

教育委員会

豊岡氏

県によって違う。

以上